



平成22年1月分 每月勤労統計調査結果

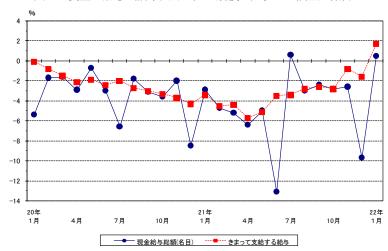
賃 金

- 1月のきまって支給する給与は、規模5人以上で238,380円、前年同月比1.7%増で、25ヶ月ぶりに前年同月を上回った。(規模30人以上では265,348円、前年同月比1.3%増で、3ヶ月連続で前年同月を上回った。) なお、特別に支払われた給与を含む現金給与総額は、規模5人以上で243,251円、前年同月比0.5%増であった。(規模30人以上では268,011円、前年同月比0.1%減であった。)

表 1 賃金の動き

				All C	•			現 金 給 与 総 額 きまって支給する給与 所定内給与 所定外給										7 + 0 0 6	特別に支払われた給与	
	産			業		- -	rt+	ж.	45 M/	34 FI II.	V-6-5-1	rt+ 40.	34 11 11.	Iv u			_	所定外給与	rt+ 40.	**********
[古兴:	actert	# 1	DL 1.1			_	実	数	指数		前年同月比	実 数		前年同月比	実	数	前年同月比	実 数	実 数	前年同月差
【事業			以上】			٦. ا		円		%	%		円 %	, .		円	%	円	円	円
調	査		産	業		計	243	251	84. 5	△45. 9	0.5	238 38	0.0	1.7	221	219	0. 1	17 161	4 871	△ 2 650
建			設			業	304	595	85.3	△39. 9	△1.6	303 86	69 △0.7	1. 5	280	366	$\triangle 2.1$	23 503	726	△ 9 400
製			造			業	260	237	82.6	$\triangle 46.4$	△0.4	256 88	30 △3.4	1.0	231	686	△2.8	25 194	3 357	△ 3 569
卸	売	業	,	小	売	業	196	309	88.8	△39. 0	△0.9	184 85	9 0.8	0.6	178	277	0.3	6 582	11 450	△ 2 903
医		療	`	福		祉	248	280	82.0	△47.8	0.1	247 66	8 2.6	1.2	230	372	0.9	17 296	612	△ 2 882
【事業》	 折規模	莫30人	、以上】																	
調	査		産	業		計	268	011	83.8	△50.1	△0.1	265 34	.8 △0.E	1.3	241	358	△0.8	23 990	2 663	△ 3 789
建			設			業	359	805	81.4	△55.8	2.5	359 80	05 △0.4	2.6	323	985	△0.5	35 820	0	0
製			造			業	279	434	79.9	△50.3	0.1	275 65	50 △3.9	1.0	244	042	△3.3	31 608	3 784	△ 2 211
卸	売	業	,	小	売	業	197	309	95. 5	$\triangle 46.6$	△10.2	195 33	9 1.6	△1.1	186	102	$\triangle 1.4$	9 237	1 970	△ 20 180
医		療	`	福		祉	284	598	86.4	△48. 5	△0.3	283 86	3 1.9	△0.6	260	413	$\triangle 1.1$	23 450	735	735

図1 賃金の動き(前年同月比) -規模5人以上・調査産業計-



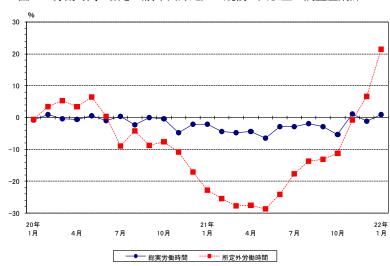
労働時間

- 総実労働時間は、規模 5 人以上で 135.2 時間、前年同月比 0.8%増で、2ヶ月ぶりに前年同月を上回った。 (規模 30 人以上では 141.2 時間、前年同月比 1.8%増で、3ヶ月連続で前年同月を上回った。)
- ・所定外労働時間は、規模 5 人以上で 9.6 時間、前年同月比 21.4%増で、 2 ヶ月連続で前年同月を上回った。 (規模 30 人以上では 11.9 時間、前年同月比 20.2%増で、 3 ヶ月連続で前年同月を上回った。)

表2 労働時間の動き

	産			業			総実労働時間 所定外労働時間							出勤日数			
	/==			\wedge			実 数	指 数	前月比	前年同月比	実数	前月比	前年同月比	実 数	前月差	前年同月差	
【事業月			(以上)				時間		%	%	時間	%	%	E	E	E	
調	査		産	業		計	135. 2	89. 3	△8. 1	0.8	9. 6	△4.9	21. 4	17.8	△1.3	0. 2	
建			設			業	155. 9	91.1	△10.8	1. 1	12.0	4.3	96. 7	18. 5	$\triangle 2.7$	$\triangle 1.1$	
製			造			業	140.8	84.8	$\triangle 12.0$	5. 0	11.7	△13. 9	46. 2	17. 3	$\triangle 2.3$	0.6	
卸	売	業	`	小	売	業	126. 9	89. 1	$\triangle 4.9$	△2.0	4.0	△16. 7	0.0	18.5	△0.7	△0.8	
医		療	`	福		祉	128.6	95.0	△6.3	△6.3	6.7	26.4	6.3	17.6	△0.9	△0.2	
【事業月		莫30丿	、以上】														
調	査		産	業		計	141. 2	91.5	△8.1	1.8	11.9	△9.1	20. 2	17.8	△1.5	0.3	
建			設			業	163. 7	95.6	△7.4	2. 7	15. 1	$\triangle 5.6$	43.8	18.7	$\triangle 1.5$	0.0	
製			造			業	144. 7	86.2	△12.9	4. 7	14.0	$\triangle 15.2$	44.3	17. 2	$\triangle 2.5$	0.5	
卸	売	業	`	小	売	業	135. 2	98.9	△1.7	0.9	5.5	3. 7	△1.8	19. 2	$\triangle 0.4$	△0.1	
医		療	`	福		祉	137. 1	102.4	$\triangle 2.4$	△6.2	7.4	25.4	5. 7	18.6	△0.3	△0.1	

図2 労働時間の動き(前年同月比) -規模5人以上・調査産業計-



雇用

- ・常用労働者数は、規模 5 人以上で 638, 858 人、前年同月比 2.6%減で、10 ヶ月連続で前年同月を下回った。 (規模 30 人以上では 347, 941 人、前年同月比 2.9%減で、7 ヶ月連続で前年同月を下回った。)
- ・パートタイム労働者の比率は、規模5人以上で30.4%となり、先月からは0.2ポイント下降した。

表3 雇用の動き

							常	用	労	働	者			労 働 異	動
	産			業			実 数	指数	数	前月比	前年同月比	パートタイム 労働者比率	パートタイム 労働者比率 前年同月差	入職率	離職率
【事業		模 5 /	人以上】				人			%	%	%		%	%
調	查		産	業		計	638 858	9	9. 3	△ 1.0	△ 2.6	30. 4	△ 0.2	1. 20	1. 96
建			設			業	34 085	9	5.3	△ 0.7	△ 3.2	5. 7	1.2	1.01	1.68
製			造			業	186 671	9	4.9	△ 2.0	△ 5.0	17.8	△ 0.2	0.72	0.81
卸	売	業	`	小	売	業	116 356	8	86.3	△ 4.0	△ 5.5	49. 4	△ 3.1	1.08	2. 25
医		療	`	福		祉	74 862	12	28.5	△ 3.5	3.1	30. 1	1.2	1.03	1. 78
【事業	所規	模30	人以上】												
調	査		産	業		計	347 941	10	2. 2	△ 0.9	△ 2.9	23. 3	△ 0.1	1. 01	1. 90
建			設			業	9 208	11	0.7	0.0	△ 2.4	1.2	△ 0.1	0.00	0.05
製			造			業	135 073	10	1.3	△ 0.9	△ 3.7	13. 1	0.1	0.65	0.88
卸	売	業	`	小	売	業	43 685	7	9.4	△ 4.2	△ 3.9	51.8	△ 0.5	0.93	1.64
医		療	`	福		祉	47 177	13	80.6	△ 4.0	4.2	23. 2	2.6	1.17	0.80

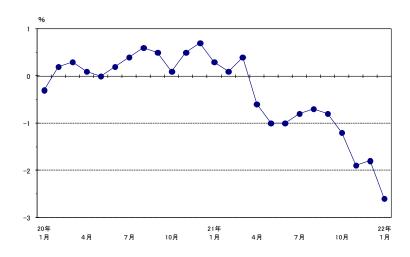
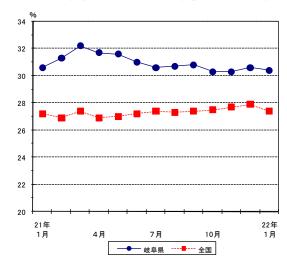


図4 パートタイム労働者比率の動きー規模5人以上・調査産業計ー



注)全国の当月値は速報発表の実数値により算出。 翌月の公表資料で確報値に修正して掲載。

【利用上の注意】

- 1 平成 21 年 1 月分調査から、平成 18 年事業所・企業統計調査の結果に基づき調査対象事業所の抽出替えを 行っている。
- 2 このため、賃金・労働時間及び雇用指数については、新旧サンプルのギャップを埋めるため、過去に遡って修正し指数を接続させている。(指数の基準時は平成17年=100としている)
- 3 前月比及び前年同月比は、指数の増減である。
- 4 平成22年1月分から、平成19年11月に改訂された日本標準産業分類により集計を行っている。
- 5 新産業分類による集計に伴い、平成21年以前の結果との接続については、平成18年事業所・企業統計調査から把握される常用労働者数の新・旧産業分類間での変動を基準として、その変動が3%以内に収まるものは、対応する旧産業分類から直接接続させている。

【調査の概要】

厚生労働省が実施する、統計法に基づく基幹統計調査であり、雇用労働者の賃金、労働時間及び雇用の毎月の変動を明らかにすることを目的とするものである。

調査結果は、労働・経済政策の基礎資料として用いられている。

この調査は、日本標準産業分類に定める「鉱業、採石業、砂利採取業」「建設業」「製造業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「運輸業、郵便業」「卸売業、小売業」「金融業、保険業」「不動産業、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業(他に分類されないもの)」に属する常用労働者5人以上の事業所のうち、厚生労働大臣が指定する約730事業所を対象とする。